

## 危険性・有害性の特定

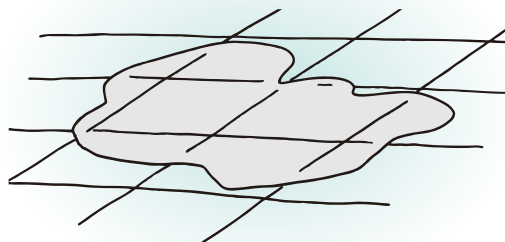
## (1) 特定の進め方

- 作業標準等に基づき、あらかじめ定めた分類に則して、「危険性・有害性」を特定します。
- 例えば転倒災害が生ずるおそれのある「肉の脂分が付着した床」をあらかじめ「危険性・有害性」の分類に挙げていたものとして扱います。
- 作業標準などに基づき、作業に影響のある位置にある「肉の脂分が付着した床」を特定します。

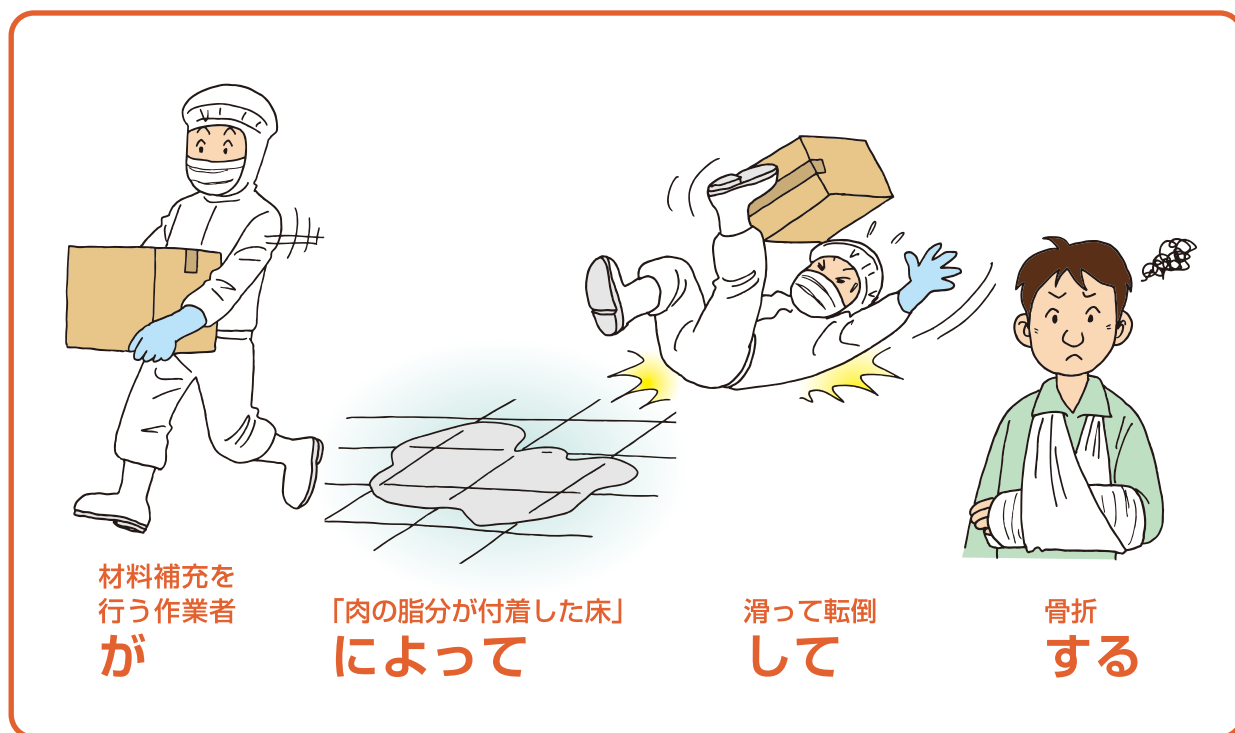
## (2) 表現の仕方

リスクの見積もりは、予想される負傷・疾病の対象者と内容を明確に予測した上で行います。「～が」、「～によって」、「～して」、「～する」などのように表現しましょう。

## 危険性・有害性(ハザード)



## 材料補充作業場所付近の「肉の脂分が付着した床」



## 例

作業者が、材料を補充するため作業場内を横切ろうとしたとき、床に付着していた肉の脂分を踏んでしまい、滑って転倒し、腕を骨折する。

なお、次ページに「危険性・有害性の分類【例】」、「発生のおそれのある災害【例】」、「職場で感じた危険体験メモ【例】」を紹介しましたので参考にしてください。

危険性・有害性の分類(例)	発生のおそれのある災害(例)
①機械・器具その他の設備による危険性	はさまれ・巻き込まれ、切れ・こすれ
②爆発性・発火性・引火性の物などによる危険性	爆発、破裂、火災
③電気、熱その他のエネルギーによる危険性	感電、火傷
④作業方法・作業行動から起こる危険性	墜落・転落、転倒、激突、飛来・落下
⑤作業場所についての危険性	墜落・転落、転倒、おぼれ
⑥原材料、ガス、蒸気、粉じんなどによる有害性	眼・皮膚の障害、中毒、じん肺
⑦放射線、高温、低音、超音波、騒音、振動などによる有害性	放射線障害、熱中症、凍傷、聴力障害、振動障害

### 職場で感じた危険体験メモ【例】

皆さんが職場で感じていること、ヒヤッしたり、ハッとしたことなどの体験があれば記入してください。併せて①～⑤の項目について記入してください。

記入日	年 月 日	記入者	所属
			氏名
職場名		作業	
危険体験のあらまし	例) 作業者が、ソーセージを切断機械で切断中、いったんスイッチを切ったが、カッターが回り続けていることに気付かず手を近づけたため、指を切りそうになった。		
① 人「～が」	② 危険性・有害性「～に、～と」		
例) 作業者が	例) 切断機のカッターに		
③ 危険性・有害性と人が接触する状態「～するとき、～するため」			
例) ソーセージを切断機械で切断するとき			
④ 安全衛生対策の不備「～なので、～がないので」			
例) スwitchを切ったが、カッターが回り続けていることに気付かず手を近づけたので			
⑤ けがの状況「(事故の型) + (体の部位)を～になる、～する」			
例) 指を切断する。			